

創立144周年



学校だより
は南風の子

中種子町立
南界小学校
平成29年9月8日(金)

さあ、2学期のスタートです。

校長 吉留 巧

9月1日、35名の子どもたち全員、夏休みの思い出や宿題をいっぱい持って元気よく登校し、2学期がスタートしました。始業式で子どもたちに夏休みのことを聞いてみると、ほとんどの子どもが良い夏休みであったと手を上げてくれました。充実した夏休みが過ごせたようです。

8月27日(日)にPTA愛校作業を行いました。お陰様で、台風の落ち葉などがあった校庭や学校周辺が見違えるほどきれいになりました。今年は昨年還暦を迎えられた7名の方々(中野さん・徳永さん・日高さん・竹本さん・黒木さん・牧口さん・折戸さん)が、熱い中一緒に汗を流して作業に取り組んでいただきました。この場を借りて改めてお礼を申し上げます。ありがとうございました。

また、水難事故防止の巡回パトロールや地域の方々の声かけのおかげで子どもたちの大きなけがや事故もなく2学期が順調に始まりました。

子どもたちの夏休みの過ごし方を見ながら感心したことがあります。たくさんの子どもの理科や社会の自由研究に取り組んだことです。夏休み前に自分の自由研究のテーマを決め、調べる内容や方法、実験や器具の準備、記録の仕方やまとめ方など先生方の指導を受けながら、計画的に取り組んだようです。中には学校に何回も来て顕微鏡をのぞき込んでいる子どもたちもいました。また、習字や絵・工作なども丁寧に仕上げられています。提出された作品はどれも力作です。どの子どももコツコツと取り組んだことが伺われます。各家庭で、いろいろな話をしながら親子で取り組んだのではないのでしょうか。多目的ホールに並んだ子供たちの作品や宿題等を見て自慢したくなりました。

さて、2学期は、学校内外でいろいろな行事が実施されます。今年は9月17日が運動会。早速練習が4日(月)から始まりました。保護者や地域の皆様、今学期もよろしくお願いいたします。

南界小学校図書室の一角にPTA図書[すくすく文庫]があります。各家庭やこれまでの先生方が寄贈された本だと推測されます。いろいろな分野の本が集まっています。この夏休み何冊か手にとって読んでみました。その中で気になったのが『続・ことばのご馳走』 金平敬之助(著)という本でした。その中で次の話がありました。

「さくら ももこ」誕生の秘密

さくら ももこ。『ちびまる子ちゃん』の作者だ。エッセー『もものかんづめ』、『さるのこしかけ』も評判が高い。ベストセラー作家「さくら ももこ」は何がきっかけで生まれたのか。その秘密がおもしろい。

彼女が高校生のときだった。何の気なしに業者テストを受けた。作文のテストだ。添削が返ってきた。点数は95点だったが、古風な筆でコメントが書いてあった。その内容がすごかった。「ここまで言ってくれるのかというくらい」絶賛の言葉が添えてあった。「清少納言が現代にやってきて、現代の物事を見て書いているようだ」とまでホメてあった。これで本人は「自分もひょっとしたら、エッセイストの才能があるのか」と、すっかりその気になったようだ。

このオーバーなくらいなホメ言葉が、作家「さくらももこ」を見事に誕生させたというわけだ。「高校生の時から人々を感動させるエッセーを書くさくらももこさんだったんだ。人はその気になるとその才能を開花させることができるんだ。」と思いながら、おそらく作文のテストを何百枚も読んだ忙しい中で採点者が、さくらさんの才能を見出し、さくらさんをその気にさせる文章を添えたということに驚きました。私はこの採点者のように子どもに接していきたいと思うことでした。

